



なかせんだう  
**NSD67**  
**総選挙!!**

(記者提供資料)  
発表月日 平成 27 年 12 月 18 日  
担当部署 草津宿街道交流館

中山道沿いの各地が連携！！

全国 39 ヶ所で開催し、約 7800 人の方にご参加いただいた中山道宿場総選挙

見事第 1 位に輝いたのは **奈良井宿(長野県塩尻市)** でした！！

街道や宿場への関心をさらに高め、その良さを多くの人に知ってもらうことを目的に平成 27 年 6 月 2 日(火)～30 日(火)に開催しました「TKD57 総選挙!!」は多くの方にご投票いただいたことを受け、今秋は中山道を舞台に、11 月 1 日(日)～29 日(日)に中山道宿場人気投票「NSD(中山道)67 総選挙!!」を開催しました。

1. 投票結果 (12 月 10 日暫定版)

<b>🏆 第 1 位</b>	<b>信濃国 奈良井宿 (長野県塩尻市)</b>	<b>1275 票</b>
<b>第 2 位</b>	<b>信濃国 妻籠宿 (長野県南木曾町)</b>	<b>390 票</b>
<b>第 3 位</b>	<b>武蔵国 本庄宿 (埼玉県本庄市)</b>	<b>359 票</b>
第 4 位	江戸日本橋 (東京都中央区)	306 票
第 5 位	近江国 草津 (滋賀県草津市)	294 票
第 6 位	武蔵国 板橋宿 (東京都板橋区)	273 票
第 7 位	武蔵国 桶川宿 (埼玉県桶川市)	268 票
第 8 位	武蔵国 熊谷宿 (埼玉県熊谷市)	234 票
第 9 位	信濃国 馬籠宿 (岐阜県中津川市)	233 票
第 10 位	武蔵国 大宮宿 (埼玉県さいたま市)	220 票

**総投票数 7761 票**

1000 票以上の票を集め、大差で 1 位に輝いたのは、奈良井宿 (長野県塩尻市) でした。江戸時代の宿場の町並みが今でも残る奈良井宿は、江戸時代には、中山道最大の難所である鳥居峠を控える宿場として大いに繁盛しました。現代でも、中山道沿いで妻籠・馬籠と並んで、観光地として知られています。古い町並みに、土産物店などの現代的な要素がうまく溶け込んだ町並みは人気があり、

投票理由も「町並みが残っている」、「景観が美しい」といったような内容が多く見られました。また、「保存がすばらしく、地域の努力を感じる」など、保存整備を行なってきた地域の人々への賞賛の声もありました。

第2位になったのは、妻籠宿（長野県南木曾町）です。今や、中山道を代表する宿場である妻籠宿ですが、明治時代に宿駅としての機能を失って以降は衰退の一途を辿ります。しかし、昔ながらの町並みが保存されたことで、今では多くの観光客でにぎわい、「町並み保存の先駆け」とも言われています。「多くある宿場の中で江戸の面影を一番見られる」、「昔ながらの風情が感じられる」など、やはりその町並みが多くの人気を集めました。

第3位は、本庄宿（埼玉県本庄市）でした。もともとは、本庄城の城下町として栄えた町でしたが、江戸時代には、宿場町・商人町として、中山道でも有数の規模を誇る町になります。隣の深谷宿と並んで、街道有数の歓楽街を形成したと言われていています。本庄宿には、そんな歴史深い町を愛する地域の方からの票が多く集まりました。「歴史深いから」、「中山道最大の宿場だから」といったような理由が多く寄せられました。

## 2. 実施場所

全国の中山道沿いの市町に協力を得て、草津市を含め、全国の30市町区で投票を実施しました。中山道全域を挙げてのイベントとなりました。

宿名	投票施設
日本橋	東京メトロ三越前駅地下コンコース 『日本百街道』展 2015 会場
板橋	いたばし観光センター
浦和	さいたま市立浦和博物館
大宮	さいたま市立博物館 埼玉県立歴史と民俗の博物館
上尾	上尾市役所
桶川	桶川市観光協会
鴻ノ巣	鴻巣市産業観光館「ひなの里」
熊谷	熊谷駅連絡所
本庄	本庄市立歴史民俗資料館
倉賀野	高崎市倉賀野古商家おもてなし館
軽井沢	軽井沢観光会館
杓掛	地域交流施設くっかけテラス内 軽井沢観光案内所
追分	追分宿郷土館

芦田	ふるさと交流館芦田宿
長久保	長久保宿歴史資料館「一福処 濱屋」
和田	和田宿本陣
下諏訪	時の科学館 儀象堂
洗馬	塩尻市市民交流センター
本山	塩尻市観光センター
奈良井	奈良井会館
藪原	藪原宿にぎわい広場笑ん館
妻籠	南木曾町博物館
馬籠	馬籠観光案内所
中津川	中津川市中山道歴史資料館
大井	中山道ひし屋資料館
大久手	大湫コミュニティーセンター
御嶽	御嶽宿わいわい館
太田	太田宿中山道会館
鵜沼	各務原市歴史民俗資料館
赤坂	お嫁入り普請探訪館
垂井	垂井町観光案内所
関ヶ原	関ヶ原駅前観光交流館
柏原	柏原宿歴史館
鳥居本	鳥居本交流館「さんあか」
高宮	おとくら喫茶 宿駅「座・楽庵」
武佐	旧伴家住宅
守山	守山市歴史文化まちづくり館うの家
草津	草津宿街道交流館

### 3. 発表方法

【期間】 平成 27 年 12 月 19 日（土）～

- ①草津宿街道交流館での掲示
- ②協力していただいた投票施設での掲示
- ③草津宿街道交流館ホームページでの発表

平成 27 年 12 月 19 日（土）からインターネット上でも発表します。

多くの方が街道・宿場に関心を持っている現状が明らかになり、

東海道・中山道で連携した事業が求められている中で、今後も街道のネットワーク作りに取り組む

6 月に開催した東海道宿場人気投票「TKD（東海道）57 総選挙!!」では、各地の地元紙やラジオでも取り上げられるなど、全国に向けて、東海道、そして草津宿を発信することができました。また、地元の方がインターネットで投票を呼び掛けるなど、その反響の大きさから多くの方が街道、そして宿場に興味や関心を持っていただいているということが分かる結果となりました。

今回開催した中山道宿場人気投票では、東京メトロ三越前駅で開催されている『日本百街道』展 2015 に初めて参加し、投票パネルを設置しました。全国各地の街道に関する展示が行なわれる『日本百街道』展は、毎年開催されており、多くの方が行き交う地下コンコースを活用した大きなイベントです。この百街道展だけで約 2500 票にも及ぶ票をいただいただけでなく、どの宿場にも一定の票数が入っており、宿場や街道に対する関心の高さが窺えます。



東京都で開催された  
『日本百街道』展 2015 での様子

また、東海道や中山道沿いの地域が連携して行なった事業としては 2001 年と 2002 年に実施した東海道 400 年、中山道 400 年記念事業以来、約 15 年ぶりのことで

あり、今回の総選挙を通じて、東海道・中山道沿いのネットワークの拡大につなげることができたのではないかと思います。実際、今回ご協力をいただいた市町の多くで、中山道沿いで連携していきたい、一緒に街道の魅力を発信していきたいといった意見が多くあり、どの地域も連携事業に意欲的であることがわかりました。今回の総選挙を契機に、草津市として東海道・中山道が連携して、街道全体を盛り上げていくことに寄与できればと考えています。

草津宿街道交流館としては、来年度も『日本百街道』に参加を予定しているだけでなく、『日本百街道』展を主催する全国街道交流会議※にも参加を予定しています。こういったネットワークを通じて、東海道・中山道沿いの連携を今後も活発に行なっていきます。

※全国街道交流会議とは、街道や道に関わる交流や連携を行なう全国の市町村から構成される NPO 法人です。

また、東海道・中山道沿いの市町村との連携を通じ、草津宿を全国に広く発信していくと同時に、

草津市内に対しても、草津の歴史的特性を広く周知していく必要があります。市民の皆様、草津宿の歴史深い一面を知り、それを誇りに思ってください、草津宿や街道を活性化させる大きな力になります。

実際、前回の東海道宿場人気投票「TKD（東海道）57 総選挙!!」でも、地元の大きな支持を得た宿場が票数を伸ばし、上位にランクインすることで、全国から注目を集めました。

そういった観点からも、草津宿街道交流館では、地域の人に宿場や街道に親しんでいただくことを目的にさまざまな事業を行なっています。2つの総選挙では、東海道・中山道の旅を経て、「全ての宿場に行ったが、ここが一番！」という宿場に1票を投じた旅人も多く見受けられ、街道と鉄道や自動車と交通手段に違いはあるものの、人々は旅への憧れに思いを馳せるのは今も昔も同じであることを実感しました。そこで、例年開催しています「くさつ・歴史発見塾」は今年のテーマを「旅」に設定しました。

## 「旅」をテーマにした市民向け講座を開催！！

### 1. 趣 旨

草津市の歴史的特性である宿場や街道の歴史・文化をテーマとして講座を開催し、市民のふるさと意識の向上に努めることを目的に開催しています。平成27年度は、多くの人が街道と通った一番の目的でもあった「旅」をテーマに全5回の講座をお届けします。

### 2. 開催日時

平成28年1月16日（土） / 1月30日（土） / 2月6日（土）  
2月20日（土） / 2月27日（土）

※講座の開催時間はいずれも10:00～11:30

### 3. 会 場

草津宿街道交流館 2階研修室

### 4. 内 容

	日 時	テーマ（仮題）	講 師
1	平成28年 1月16日（土） 10:00～11:30	検証 江戸の旅	八杉 淳 (草津宿街道交流館 館長)
2	平成28年 1月30日（土） 10:00～11:30	若狭から近江への旅 —九里半街道と竹生島巡礼—	山本 晃子 先生 (高島市教育委員会文化財課 参事)

3	平成28年 2月6日(土) 10:00~11:30	<b>東海道の旅と草津</b> —古代から近世まで—	<b>倉本 一宏 先生</b> (国際日本文化研究センター教授)
4	平成28年 2月20日(土) 10:00~11:30	<b>近世文学に見る旅</b>	<b>佐伯 順子 先生</b> (同志社大学 社会学部 教授)
5	平成28年 2月27日(土) 10:00~11:30	<b>四国遍路の旅</b> —近世・近代から考える—	<b>森 正人 先生</b> (三重大学 人文学部 准教授)

5. 募集人員 1～5回とも 各50名 (50名×5回=延べ250名)

6. 申込み 12月18日(金)より交流館にて直接、あるいは電話・FAX・メールで申し込み受付。(先着順で、各回とも定員になり次第締め切り。)

7. 受講料 各回 500円 ※全5回申込みの場合は 2,100円